

システム変更等のお知らせ

(2022.5.1 - 2022.6.30 変更)

1. ハードウェア

- 1.1 Wisteria/BDEC-01 スーパーコンピュータシステム … なし
- 1.2 Oakbridge-CX スーパーコンピュータシステム … なし
- 1.3 Ipomoea-01 大規模共通ストレージシステム … サービス開始 (2022.6.1)

全体構成

	項目	機器諸元
並列ファイルシステム	ファイルシステム	DDN EXAScaler (Lustre ベース)
	ストレージ容量	25.9 PB
	i-node 数上限	168 億
	ストレージデータ転送速度	125 GB/s
	MDS + MDT	DDN 1U サーバ × 4 台 + DDN SFA200NV × 1 台
	メタデータ格納デバイス	NVMe SSD 3.84 TB × 17
	OSS + OST	DDN ES7990X × 5 台 + SS9012 × 20 台
	ファイルデータ格納デバイス	SAS-HDD 18 TB × 383 (OSS × 1 台 + OST × 4 台 あたり)

2. ソフトウェア

2.1 Red Hat Enterprise Linux 8 (Wisteria/BDEC-01)

➤ Odyssey

WaitIO	v1.0	(2022.5.27)
HΦ	3.5.0	(2022.5.27)
GENESIS	2.0beta3	
MODYLAS	1.1.0β	
NTChem	12.1.1	
OpenMX	3.9.9	
PHASE/0	2021.01	
SALMON	2.0.2	
SMASH	3.0.0	
FrontISTR	5.2	
mVMC	1.2.0	
AkaiKKR	Cpa2002v010	
ALAMODE	1.3.0	
Phonopy	2.11.0	

➤ Aquarius

MATLAB	R2022a	(2022.5.27)
NVIDIA HPC SDK	v22.2、v22.5	(2022.5.27)
gfarm	2.7.20	(2022.6.24)
gfarm2fs	1.2.16	

➤ ログインノード

gfarm	2.7.20	(2022.6.24)
gfarm2fs	1.2.16	

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのお知らせ、またはドキュメント閲覧より利用手引書をご覧ください。

2.2 Red Hat Enterprise Linux 7, CentOS 7 (Oakbridge-CX)

SingularityCE	v3.9.5	(2022.5.25)
MATLAB	R2022a	(2022.5.25)
AkaiKKR	cpa2002v010	(2022.5.25)
ALAMODE	1.3.0	
FrontISTR	5.2	
GENESIS (倍精度、単精度)	1.7.0	
HΦ	3.5.0	
mVMC	1.2.0	
NTChem	12.1.1	
PHASE/0 (2D、3D)	2021.01	
Phonopy	2.12.0	
SALMON	2.0.2	
SMASH	3.0.0	
gfarm	2.7.20	(2022.6.22)
gfarm2fs	1.2.16	

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのお知らせ、またはドキュメント閲覧より利用手引書をご覧ください。

2.3 Red Hat Enterprise Linux 8 (Ipomoea-01) … サービス開始 (2022.6.1)

※ ログインノード上のソフトウェアは主にファイル転送操作や転送用のツール等で利用

項目	構成
OS	Red Hat Enterprise Linux 8
コンパイラ	GNU コンパイラ
メッセージ通信ライブラリ	Open MPI
開発環境	OpenJDK
フリーソフトウェア	autoconf、automake、bash、bzip2、cvs、emacs、findutils、gawk、gdb、make、grep、gnuplot、gzip、less、m4、python2、python3、perl、ruby、screen、sed、subversion、tar、tclsh、tcl、vim、zsh、git など

3. その他

3.1 Ipomoea-01 サービス開始に伴う Wisteria/BDEC-01 及び Oakbridge-CX ログインノード群におけるファイルシステムマウントについて

Ipomoea-01 大規模共通ストレージシステムは 2022 年 6 月 1 日からサービスを開始しました。Wisteria/BDEC-01 のログインノード群においては 2022 年 6 月 1 日から、Oakbridge-CX のログインノード群においては 2022 年 6 月 22 日から Ipomoea-01 ファイルシステム上のファイルの読み込み、書き込みが可能になっています。本誌「大規模共通ストレージシステム(第 1 世代) 運用に関するお知らせ(再掲)」、当センター Web ページや Ipomoea-01 利用支援ポータルもご参照ください。

Wisteria/BDEC-01 及び Oakbridge-CX ログインノード群における Ipomoea-01 ファイルシステムへのアクセスパスは以下のとおりとなります。

- /common1/home/ユーザ名(ユーザ ID) : 利用者ごとの領域
- /common1/work/グループ名(プロジェクトコード) : グループごとの領域

3.2 MATLAB R2022a のインストールについて

2022 年 2 月 25 日より提供を開始 (<https://www.cc.u-tokyo.ac.jp/guide/application/introduction-matlab.php>)した MATLAB R2021b に加えて、MATLAB R2022a を Wisteria/BDEC-01 Aquarius 及び Oakbridge-CX にインストールしました。当センターでは、MATLAB におけるスーパーコンピュータ利用者の自作あるいはオープンソースのプログラムから関数として呼び出す機能が重要と考えています。特にデータ解析、機械学習系に関連する豊富な機能は、利用者の計算科学シミュレーションコードを高度化し、研究の幅を広げることに貢献するものと期待しております。MATLAB については本誌記事「Oakbridge-CX と Wisteria/BDEC-01 で稼働する技術計算言語 MATLAB のご紹介(MathWorks Japan)」をご覧ください。共に、本誌記事「第 177 回お試しアカウント付き並列プログラミング講習会「MATLAB の実行方法」実施報告」もご参考ください。